

常任委員会からの活動報告

3月定例会の常任委員会で審査した議案や所管事務調査などの中から、その概要をお知らせします。

◆**所管事務調査**
インキュベーションセンターの利用について、施設の現状や運用基準の改正案を調査し、これまでの一連の調査のまとめとした。

◆**旧中央公民館等跡地の処分**
Q 土砂災害警戒区域指定の解除に向け、どのように対応していくのか。
A 北側の擁壁部分を約4メートルの高さの強固なものへと改修し、地盤の一部を切り下げる工事を実施する。費用については、当初提案されていた土地の購入代金から差し引く形で市が負担し、施工については事業者が対応することになる。



跡地の視察

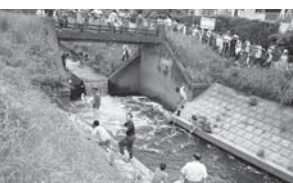
◆**学童保育料の値上げ分は事業に充当されるのか。**
A 学童保育室の新増設に伴う人件費や修繕費、延長保育に伴うシステム改修費などに充当する。



◆**待機児童対策の状況**
Q 小規模保育施設2か所の設置スケジュールなどは。
A 鶴ノ木地区のひかり幼稚園と、広瀬地区の武蔵野短期大学附属幼稚園の2園が、定員19名(0歳児3名、1歳児8名、2歳児8名)の小規模保育事業所を整備。平成30年4月に開所予定。

◆**意見交換会の内容**
意見交換会に参加した14名の会員からは、「不老川に廃棄される犬の糞の問題」「現実の草刈の時期」「不老川の改修計画」などについて意見が交わされました。

◆**昭和以降の不老川の状況**
建設環境委員会では、裏表紙にもあるように「不老川をきれいにする会」との意見交換会を実施しました。
不老川は、昭和40年代に流域人口が急増、生活排水が流入し、50年代には「日本一汚い川」として知られることになりました。その後、一部の地域住民で結成された「不老川をきれいにする会」の清掃活動が開始され、行政や地域全体を巻き込んだクリーン作戦へと輪を広げました。
結成から30年以上が経過した今では、不老川はかつての清流としての姿を取り戻しつつあります。
汚染を二度と繰り返すことなく次の世代まできれいな不老川を残していくことも私たちの大切な役目であると思っています。



地域の努力で不老川をきれいに

旧中央公民館等跡地の売却に伴う安全確保は

総務経済委員会

◆**29年度一般会計予算**
Q 公共施設への新電力導入による効果の見込みは。
A 新電力の契約により、基本料金の単価が下がり、市庁舎を含む46施設全体では、年間で約4千900万円の電気料金の削減が見込まれる。

福祉と教育の相談体制の充実・待機児童解消に向けた施策

文教厚生委員会

◆**福祉と教育の相談体制の充実**
Q 要援護世帯総合支援体制コーディネーターの概要は。
A 社会福祉士資格など有資格の嘱託職員を2名採用し、障害や高齢などの複合的な支援が必要な世帯の支援を行う。

◆**教育相談事業への取り組み**
Q 教育センターの教育相談員が1名増の6名、適応指導教室指導員も1名増の2名となり、相談体制を充実させる。

不老川の清流を次代に残すために

建設環境委員会

◆**昭和以降の不老川の状況**
建設環境委員会では、裏表紙にもあるように「不老川をきれいにする会」との意見交換会を実施しました。
不老川は、昭和40年代に流域人口が急増、生活排水が流入し、50年代には「日本一汚い川」として知られることになりました。その後、一部の地域住民で結成された「不老川をきれいにする会」の清掃活動が開始され、行政や地域全体を巻き込んだクリーン作戦へと輪を広げました。
結成から30年以上が経過した今では、不老川はかつての清流としての姿を取り戻しつつあります。
汚染を二度と繰り返すことなく次の世代まできれいな不老川を残していくことも私たちの大切な役目であると思っています。

討論

議案に賛成・反対します

◆平成29年度 一般会計予算



賛成討論(要旨)

国庫補助金が想定どおり交付されないなど財源確保が困難な中、効率的で効果的な事業展開のため組織改正し、予算編成に臨んだことは、元気な狭山市を持続するという市長の強い決意を感じ、大いに評価したい。
 ▶稲荷山環境センターの焼却施設改修・長寿命化 ▶急速な高齢化への「トータルサポート体制」の構築 ▶子育て支援「妊産婦・新生児訪問」小規模保育所整備、富士見小・学童保育室拡充 ▶健康づくりウオーキングポイント制付加事業 ▶都市計画道路、狭山市駅加佐志線、笹井柏原線整備 ▶危機管理監の配置、防災行政無線のデジタル化 ▶計画推進「親元同居・近居支援」▶人口減少と少子高齢化が進む中、市民の納得度を高める「透明性」「細やかな説明と対話」を期待するものである

反対討論(要旨)

厳しい財政状況だからこそ、市民に寄り添った施策を充実させて狭山市民や市外在住の方が、住み続けたい、住んでみたいと思える「市民にやさしい政策づくり」を求める。
 ▶女性の社会進出で待機児童の解消へ保育所の増設を ▶子育てしやすい狭山市へ学童保育料の値下げを ▶難病患者福祉手当の月額支給の復活を ▶事業の見直しは、市民負担がかからないところから ▶入曽地区地域交流施設(仮称)は、公民館の理念や機能の継承を ▶平和意識を肌で感じるため中学生に広島平和記念式典への参加の復活を ▶地域公共交通会議は、臨時の委員や会議の開催、公聴会などを視野に ▶資源物の集団回収促進の仕組みづくりを ▶国の政策で自治体が負担を被る事業は、国に実態を伝え、改善見直しを

採決の結果

平成29年第1回定例会では、市長提出議案23議案と議員提出議案2議案、委員会提出議案1議案を審議し、採決の結果、すべて承認・同意・可決しました。

◆賛否が分かれた議案

起立(賛成)・・・○、着席・・・×、討論者・・・討、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名	創政会		創造				公明党		日本共産党		新政みらい	はつらつ	無										
		千葉	三浦	笹本	新良	田村	西塚	金子	矢馳	太田	町田	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	望月	大沢	猪股	内藤	土方	中村	大島	高橋	
4	個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	28年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	29年度狭山市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆全員が賛成した議案

市長提出議案/人事人権擁護委員候補者の推薦(千葉収氏、奥富孝一氏) 条例の一部改正市税条例等、廃棄物の処理及び再利用に関する条例、建築基準法等関係事務手数料条例 補正予算一般会計(第8号)、国民健康保険特別会計(第2号)、介護保険特別会計(第2号)、後期高齢者医療特別会計(第2号) 予算国民健康保険特別会計、都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計 その他専決処分の承認(28年度一般会計補正予算(第6号))、市道路線の認定、財産の処分 議員提出議案/精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書、国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書 委員会提出議案/委員会条例の一部改正